



## 将来を見据え、正面から向き合う

校長 西 啓亨

9月8日(火)のPTAの全体会で、一学期末の保護者による学校評価について、結果の公表と説明を行いました。また、これまでにお寄せいただいたお問合せについて、反省・改善・方針等を回答いたしました。

多くの評価や御意見をお寄せくださり、ありがとうございます。

すべての項目の結果を、印刷して全御家庭にお渡ししてございます。ここでは、主なものをお伝えいたします。

質問はどれも4段階評価で、最高が4点、最低が1点です。

### 1 下平川小学校の保護者からの評価が、高かったもの

- ◎ 学校は、学校の授業や行事を参観する機会を適切に設けている。 . . . . . 3.6点
- ◎ 学校は、時間を守って授業や活動に取り組んでいる。 3.5点
- ◎ 学校は、整理整頓され、掃除が行き届いている。 . . . 3.4点
- ◎ 学校は、子供の安全や事故防止に配慮している。 . . . 3.4点

### 2 下平川小学校の保護者からの評価が、低かったもの

- ▽ 家庭で「机に向かう」「頭を鍛える」(学年×10分+20分)の実践をした。 . . . . . 2.2点
- ▽ 家庭では、歩育「歩いて登校」を実践した。 . . . . . 2.5点
- ▽ 子供たちの言葉遣いは良い。 . . . . . 2.7点
- ▽ 家庭では、子供たちの家庭学習の見届けをしている。 2.7点

また、自由記述でいただいた御意見や要望につきましては、その回答や説明を裏面に記してございます。

本校の職員は、小学校に勤めておりますが、見据えているのは子供たちがやがて社会に出ていくときの姿です。そのために、学校は保護者と両輪になって、子供たちの教育環境を整えます。

保護者からの御意見やお問合せには正面から向き合い、反省し、改善し、一緒に考え、一つ一つに答えてまいります。

今後とも、小さなことからお気兼ねなく学校に声をお寄せください。

## 体力・運動能力調査を踏まえた取組

5月に2～6年生が行った体力・運動能力調査結果について、集計が整いましたのでお知らせします。

|         |  |
|---------|--|
| 県平均を上回る | 上体起こし  |
| 県平均と同等  | 握力   |
| 県平均を下回る | 50m走, 長座体前屈,<br>ソフトボール投げ,<br>反復横跳び,<br>20mシャトルラン,<br>立ち幅跳び |

本校は、鹿児島県の平均を下回る種目が多かったです。この結果を受けて、2学期から次のことに取り組み、体力・運動能力の向上を図ります。

- ・ 毎時間の体育で、補充運動を5分間
- ・ 児童が自分できる運動の紹介
- ・ 「体力アップ! チャレンジかごしま」への全学年が挑戦する
- ・ 外遊びの励行 等

## 愛校作業ありがとうございました

8月26日に、PTAの愛校作業が実施されました。7:30から約2時間、除草や剪定、草刈りなどの作業を行い、5・6年生の児童も参加しました。

おかげ様で、美しく整備された環境で2学期を迎えることができました。暑い中、御協力くださましてありがとうございました。



## ☆今月号のきらい☆

- |            |    |         |
|------------|----|---------|
| 1学期終業式代表挨拶 | 2年 | 清水 恵花さん |
|            | 4年 | 島 愛名美さん |
| 2学期始業式代表挨拶 | 3年 | 安田 雄樹さん |
|            | 6年 | 先間 伊織さん |

## 知名町水泳記録会

- |      |           |         |
|------|-----------|---------|
| 5年男子 | 50m平泳ぎ1位  | 町田 宗愛さん |
| 5年女子 | 50m平泳ぎ1位  | 竿 めいさん  |
| 6年男子 | 50m平泳ぎ1位  | 勝馬 英新さん |
| 6年男子 | 100m自由形1位 | 木下 誠喜さん |
| 6年男子 | 100m平泳ぎ1位 | 中村 祈典さん |

新任の職員を紹介します(9月1日付け)  
特別支援教育支援員 井原 米吉  
よろしくお願いいたします。

## 持続可能な社会に向けて、できることを

知名町は「ゼロカーボンシティ」を推進しています。

そこで、本校では9月5日に「地球村研究室」代表の石田秀輝 東北大学名誉教授をお招きしました。5校時は3～6年生が学び、放課後は職員が研修を受けました。普段の生活と地球環境との深いつながりを、分かりやすく説明してくださいました。

- ◎ まず将来の姿を描いて、その実現のために現在の在り方を考える
  - ◎ 人間は本来、ちょっとした不自由さを求める性質がある。そこから暮らしの豊かさが生まれる。
- これらのお話を踏まえて、今日からできること、自分にできることを、児童と一緒に取り組んでまいります。



## 1冊の本との出会いが人生を支える

9月8日に、作家の長崎夏海さんをお招きして、PTA研修会を行いました。

- ◎ 心に残る本との出会いは、その後の人生の支えとなる。
  - ◎ 自分の1冊と出会うために、幼い頃からたくさんの本を読む。
- 御自身の体験を基にした御講話で、言葉の力や美しさに触れた、心温まる一時でした。



## 10月の行事予定

- 1日(日) 運動会
- 2日(月) 振替休日
- 3日(火) 身体計測
- ※ 校内読書月間～31日
- ※ 生活習慣チェックウィーク～11日
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 教育相談週間～13日
- 14日(土) 土曜授業
- 19日(木) 小学校陸上記録会(5・6年生)
- 23日(土) 家庭読書の日
- 24日(月)～
- 26日(木) 修学旅行(6年生)
- 27日(金) 町音楽発表会(3・4年)
- 6年休養措置日



令和5年9月8日（金）

P T A 全体会資料

下平川小学校  
校長 西 啓亨

御意見・御要望・お問合せ等への回答について

これまでにお寄せいただいた保護者の皆様方からのお声につきまして、回答や学校の状況等をお伝えいたします。

- 1 学校での相撲大会を復活させてほしい。
  - ① コロナ禍以前に行われていたから、再開できるのではないか。
  - ② 相撲大会を励みにしている児童もいた。足の速い児童に活躍の場があるように、様々な活躍の場を設けてほしい。
- 2 総会で意見があった相撲大会の件はどうなったのでしょうか。我が家も同意見で、出来たら機会を設けていただけると大変有難いです。

【合わせてお答えいたします。】

- 相撲が大切に受け継がれてきた郷土の伝統や、学童期に相撲を経験することの意義等は、とても価値あることだと考えております。その一方で、現在の学校で、授業の一環として教員の指導により相撲を行うことは、とても厳しい状況にあります。
- 下平川小学校で、児童に相撲を経験させるためには、どのような案がありそうかを考えてみました。
  - (例) スポーツ少年団を組織する。
  - (例) 地域の指導者が相撲教室を開催する。
  - (例) P T A 行事として行う。
  - (例) 知名町、和泊町の相撲大会へ参加に当たり、指導者や参加者が学校の土俵で練習する。

①について

→ コロナ禍の3年間にも、各学校では新たに学習する内容が加わりました。一例では国語、社会、算数、理科、体育の授業時数が年間約10%増加しました。外国語活動が導入されました。タブレットを用いた情報機器活用が導入されました。そのため、授業内容や行事などを、そのまま4~5年前の在り方に戻すのは厳しい状況にあります。

②について

→ かけ足の速さ、球技の巧みさ、力強さなど、児童の得意・不得意や、興味・関心等を踏まえて、様々な学習や体験の機会が組めるよう検討してまいります。その一環として、本年度の運動会で、綱引きを行います。力強い運動を得意とする児童が活躍し、賞賛される機会となることを願っております。

- 3 学校からの連絡に安心メールが多用されすぎており、保護者との関係が一方通行で、双方向でないと感じる。学校＝一斉配信／保護者＝常に電話連絡。アプリ「コドモン」のように相互に連絡がとれるものでないと、フェアなICT利用と感じられない。改善してほしい。

【回答いたします】

- 安心メールでの連絡や文書の配布につきましては、これまで紙で配布していたものをデータ送信に置き換える取組の一環として行っております。
- 学校からの案内プリントや、連絡事項、風水害や台風への対応などを、より早く確実にお届けできるものと考えております。
- 双方向の連絡につきましては、その大切さは踏まえております。個別の連絡が必要な際は、これまでどおり、学校からも電話連絡や家庭訪問、プリントの直接のお届けなどで対応しております。
- 併せまして、御案内くださいましたアプリのように、保護者の皆様からもデータで連絡を受けられるようなICT環境の導入につきましても、検討してまいります。

- 4 荒い言葉遣いや友達とのトラブル等、我が子への対応がしかりできず、ご迷惑をおかけすることが多かったです。申し訳ありませんでした。

【御礼とお詫び】

- お声をお寄せくださり、ありがとうございます。子育てや教育は、決まった答えや完成を求めるのは難しいと考えます。また、子供たちにとって、学校は、やがて独り立ちしていく社会の縮図であり、体験の場でもあると考えます。子供たちが一生懸命に思いを出し合うからこそ、ときにはぶつかることもあるでしょう。大切なのは、その時々での折り合いのつけ方を学んだり、よりよい言葉遣いや行動を身につけたりすることだと考えます。
- 子供たちのトラブルをすべて無くすのは難しいでしょうし、すべて無くすために大人が前もってトラブルを避けさせるばかりでは、子供たちの成長のきっかけを掴むことにもなりかねません。
- そのために、各御家庭とは、普段の小さなことから連絡を取り合い、情報を共有して一緒に考えていきたいと考えております。
- 学校での指導や配慮に行き届かない点がありますことをお詫びしまして、お気づきの点はいつでも御遠慮なくお知らせくださるようお願いいたします。